

9月子育てワンポイント

『絵本の読み聞かせ』



「子どもの教育に良い」「心が豊かになる」と言われている絵本の読み聞かせ。実際にどのような効果があるのか、疑問を持っている人も多いのではないのでしょうか？

～期待できる効果は～

- ①物語を理解する中で想像力が育つ
- ②さまざまな単語を知り言語力が高まる
- ③夢中になっているうちに集中力が上がる
- ④感情が豊かになる
- ⑤子どもの好奇心を刺激できる
- ⑥コミュニケーションで心が豊かになる

～絵本の読み聞かせによる効果をより高めるためには、絵本選びが大切です～

まず大切なのは、**月齢に合わせた絵本**を選ぶことです。年齢が低いうちから難しい本を読んでしまうと、「絵本の読み聞かせは退屈な時間」と感じてしまうことも。

年齢のほか、**季節に合わせた絵本**を選ぶことも大切です。

ときには、子ども自身が選んだ絵本を読み聞かせても良いでしょう。子どもがどんな絵本に興味を持っているのか知れるだけでなく、自分で選んだものを読んでもらえることにより、自己肯定感が高まります。



～語彙力や集中力を高めるため、たくさんの絵本を読み聞かせたいと思うのが大人心～

なかには同じ絵本を何度も読みたがる子どもも少なくありません。低年齢であれば、同じページばかりを求めることも多く「読み聞かせ本来の効果が期待できないのでは？」と心配になりますよね。しかし、**同じ絵本やページを繰り返すことで、満足感が得られます**。好きな絵本、楽しい気持ちになる絵本を何度も読んでもらい、お決まりの展開を見守る。**繰り返しにより、子どもはお気に入りの絵本の世界を存分に楽しめます**。満足すれば、いずれ違う絵本に興味がつくと考えられます。大人からすると退屈に感じてしまいがちですが、繰り返したい気持ちを大切にしたいですね。